

学長選考会議による学長の業務執行状況の検証結果について

学長の業務執行状況の検証の観点及び資料は、以下のとおりである。

○検証の観点

1. 山梨大学の教育研究・経営の最高責任者として優れたリーダーシップを発揮しているか
2. 本学の個性と特色を発揮するための明確なビジョンを示し、それを実現しているか
3. グローバル化社会で活躍できる有為な人材を育成し、世界に発信できる高度な研究を推進しているか
4. 教育研究を通じて、さまざまなニーズに応えつつ社会貢献を推進しているか
5. 構成員の意欲と創意を引き出し、本学の人的資源を最大限に生かしているか

○検証資料

- ・所信表明書
- ・平成31事業年度に係る業務の実績及び第3期中期目標期間（平成28～31事業年度）に係る業務の実績に関する報告書（学外公表）
- ・令和元年度に係る業務の実績に関する評価結果（国立大学法人評価委員会）
- ・令和元年度監査結果報告書（山梨大学監事報告）

上記、検証の観点に基づき、検証資料により検証した結果、国立大学法人評価委員会の評価において、すべての項目が順調以上の評価を得ており、多くの取組が注目事項として取り上げられていること、また、山梨県立大学との一般社団法人アライアンスやまなし設立による大学間連携の強化・推進、市場調査チームの結成による経費削減、イノベーション創出強化本部の設置に伴う知的財産権活用率の上昇など、大学運営に関し大きな成果を上げていること、これらのほか、新型コロナウイルス感染症には他に先駆け迅速な対応を指示するなど強いリーダーシップを発揮していることなど、総合的見地から令和元年度の学長の業務執行状況は良好と判断する。

令和3年1月22日

山梨大学学長選考会議